

精妙なもの、偉大なもの

2018年2月1日

読者の皆さん

ナマスカル、マハーシヴァラトウリーの月へようこそ！

もしあなたが目を閉じたら、おそらくいまだに聞くことができるでしょう。グルマーイの声。それは太陽に確かに照らされた言葉の音楽を奏で、神秘的であり、それにもかかわらずとても身近な力を伴って、筆舌に尽くし難い美と音色と共にその言葉を染み込ませます。サツァング **सत्संग**。それは鳴り響いています。

私たちは1月1日の「スウィート・サプライズ(嬉しい驚き)」のサツァングで、グルマーイからこの2018年の素晴らしいメッセージを受け取りました。それ以来、皆さんの多くが、このメッセージのさまざまな輪郭を考察し、どんな連想をもたらすかを観察してきました。誰かと一対一で向き合って、またこのシッダ・ヨーガの道のウェブサイトで、洞察を分かち合ってきました。あなたは日記に書いてきたかもしれません — 詩、散文、さまざまな考えの断片を。あるいは、ただしばらく座る時間を取って、メッセージについて深く考えてきたかもしれません。サツァングがあなたにとって意味するところに少しでも近づくために、あなた自身の直感の底無しの井戸に沈み、どのようにグルマーイの教えに従うか — どのように、どこにいても、望むときはいつでも、自分自身のサツァングを創るか — を認識するために。

2月には、探究をさらにもっと先に、より深く理解していくことにあなたを招待します。例えば、自分自身のサツァングを創る能力を持つとはどういうことでしょうか。いかなる時も大いなる真理と共にいるとはどんな意味でしょうか。それは大いなる真理の本質について、何を語っているのでしょうか。

答えはあなたをよく知っているものかもしれません。大いなる真理はすべてを包含しているとあなたは言うかもしれません。それは、すべての場所に、すべてのものに、すべての瞬間に存在しています。それなのに、実際にそれは分かりやすく単純だといつも感じますか。あなたの人生で、そして特定の状況下で、自分が独りぼっちで混乱した頭と早鐘を打つ心臓だけがあると感じる状態にあるとき、どうなりますか。あなたは真理を覚えていますか。捉えどころがないと感じますか。真理はどこに行ってしまったのだろうと、心の片隅で思いますか。

今月はマハーシヴァラトリーの月なので、私たちにはこれらの疑問を考える素晴らしい環境があります。至高の神であるシヴァ神は、大いなる真理の具現です。『カイヴァリヤ・ウパニシャッド』は、神をこのように描写しています。

私は精妙なものより精妙である。私は偉大である。私はこの多様な宇宙である。私は最も古くからある。私は至高の人間である。私は大いなる統治者である。私は黄金の大いなる存在である。私はシヴァである。¹

「私は精妙なものより精妙である。私は偉大である。私はこの多様な宇宙である」。この描写には、強く語り掛ける何かがあります。そのままに糸となり、この宇宙を構成する繊維そのものになって、大いなる真理はあなたの目の前にあり、しかも見逃されやすいという矛盾があります。それは知覚全体に広がるほど、知覚を避けるのです。私のマインドに浮かぶイメージは、誰かが非常に大切な所有物を探している姿です。例えば、ネックレス(インドの教典で古典的に挙げられる例)、あるいは眼鏡のような物です。そこかしこ、あらゆる所を探して、だんだん狂ったようになり、見ること — ただ見ること — への願望はいっそう歯止めが利かなくなります。止まって、自分自身に目を向けた時のみ、眼鏡はずっと自分の手の中にあったことに気づくのです。

ですからそうです、真理は一面に広がっています。それは朝の草の上に見つける露の膨らみの中にあります。それは夕日のルビーピンクの光沢の中にあり、そしてもちろん、マハーシヴァラトゥリーに私たちをくぎ付けにするであろう、輝く本当に細い月の中にあります。それはまた予期せず不意に訪れる物悲しさの痛みの中にも、一時的に襲われる一抹の悲しみの中にも、静かであるにもかかわらず白熱した喜びの瞬間の中にもあります。

このような状況で真理を実際に知覚するために、その状況を通して進み、私たちに希望と洞察、進むべき道を与えてくれる何かきらめく断片を垣間見るために、私たちは知覚を洗練させなければなりません。そうでなければ、露はただの水滴であり、夕日を見てもその豊かな魔法を見ることはありません。

これが、グルマーイが私たちにサツァングを持つことを教える理由です。これが、サツァングを習慣とし、実践することがとても重要な理由です。たとえそれが毎日数分間であっても、内側の真理と共に過ごしてください。どのような活動が — あるいは活動を控えることが — その真理と触れる手助けとなるかを見つけ出してください。あなたにとって真理はどのように見え、聞こえ、感じるかを学んでください。それは完全な休息ですか。至福があふれんばかりですか。歌ったり、絵を描いたり、ペンを紙に置いてただ…書くときに体験する、あの爽快な流れですか。

あなたが自分自身の中の大いなる真理と共にいる時間を持つ努力をすればするほど、あなたの内側と外側の世界の知覚はより広がり、あなたの識別力はより鋭くなります。『カイヴァリヤ・ウパニシャッド』は、神は精妙でありながら、マハーン、すなわち「偉大」でもあると述べています。ここでこのサンスクリット語が含む一つの意味は、大いなる真理を知覚するにはいくらかの時間とエネルギーが必要とされるかもしれないが、私たちがそれを見た瞬間、本当にそれが分かるということです。それは明らかです。

私は、ほんの数週間前に、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムでのグルマリーとのサツツァングの時に起こったある瞬間を思い出します。私たちは「シュリー・グル・ギター」を朗唱していて、途中で、朗唱のテンポが少し遅れ始めました。グルマリーは指揮者にほほ笑み掛け、速度を保つためにメトロノームを使うように頼みました。グルマリーは彼に言いました。「リズムには幸せがあります」

私はこの教えについて、それがどれほど慈愛深いか、それがどれほどその直接の状況を超越してサーダナーのための素晴らしい類推となり得るのか、大いに考えてきました。安定して、規律正しく、定期的に自分の中でいつも脈打っているリズムに落ち着くとき、私たちは自分の存在の中の空間と世界における広がりを見つけます。私たちは音楽の中に静寂を、日常の最もありきたりな音の中にさえ静けさを聞き始めます。私たちは目に見えない繊維や強い黄金の糸が、この瞬間を次の瞬間へと、そして私たち一人一人を他者へとつないでいるのを見始めます。私たちは、「精妙なものより精妙なもの」に触れるようになります。私たちはその偉大なものを見つけるのです。

そして今 2 月となり、それはグルマリーのメッセージを実践する機会にあふれる月です。2 月は私たちに内側へと向かうこと、私たちの心の中の真理を知ること、そこに住む神と共にい続けること、を思い出させてくれるものを何度も提示します。

先に触れたように、今月はマハーシヴァラトウリー、シヴァ神の素晴らしい夜がある月です。それは、三日月が神の豊かな髪の中の止まり木から私たちにほほ笑みを降り注ぐ夜です。それは、神を崇拝し、その名をチャンティングする効果が千倍になると言われている夜です。

2018 年は、2 月 13 日にマハーシヴァラトリーを祝います。(マハーシヴァラトリーの背景についての物語は、[ここで読むことができます](#))

今年マハーシヴァラトリーのすぐ次の日が、聖バレンタインデーです。聖人や賢人たちは、大いなる真理は究極的には愛という形であると私たちに伝えてくれます。その愛は、私たちに生来備わり、いかなる外側の要因にも影響を受けず、もし十分に注意して見るならば、内側に止めどなく流れていることが分かるものです。シッダ・ヨーガの道では、この愛をバレンタインデーで認め、祝います。

もちろん、あなたが私と同じようならば、無条件の愛という考えそのものが、あなたにグルマーイのことを考えさせるでしょう。ですから、今年間もなくシッダ・ヨーガの道のウェブサイトに掲載されるグルマーイの「行動の中の愛」と共にバレンタインデーを祝うことができることをお知らせすることを光栄に思い、とてもわくわくしています。

最後に、2 月 16 日 — マハーシヴァラトリーとバレンタインデーと同じ週 — は、旧正月です。シッダ・ヨーガの道で認めるすべての新しい始まりと同じく、この日は私たちの決意を今一度新たにし、より強い意欲と新しい精神を私たちの精神修行に取り入れる合図です。

ですから、マハーシヴァラトリー、バレンタインデー、旧正月、これらはすべてグルマーイのメッセージを実践する吉兆の日です。これらはすべてメッセージを実践し、目に見えないだけで私たちの内側、そして周りのあらゆる場所できらめく真理をつかむ吉兆の時です。

そして... 今日、グルマーイのメッセージを実践する良い時です。明日は、グルマーイのメッセージの実践にあなたを招待しています。あさっては、あなたがサツァングを持つことを率直に主張しています。本当のことを言えば、サツァングは実現するためのさらなる理由も、あなたの切望 — 知りたい、理解したい、大いなる真理と共にいたいという切なる願い — 以上

の動機も必要としません。今月、私たちがシヴァ神を崇拝するとき、今月、愛という形で神を祝うとき、その切望に従って行動してください。

心を込めて

エーシャ・サールデサイ

© 2018 SYDA Foundation®. 著作権所有。